

かづのパワー

地域電力小売会社かづの パワーを設立

令和元年7月17日、市と地元
の金融機関・事業者の共同出資
により、電力の地産地消を実現
する電気小売会社「株式会社か
づのパワー」を設立登記し、豊
富な再生可能エネルギーを地域
活性化に結び付ける取り組みを
スタートさせました。

7月10日に行われたかづのパワー
創立記者会見



再生可能エネルギーと 新エネルギービジョン

本市は再生可能エネルギー（以
下、再エネ）に恵まれた地域で
あり、すでにたくさんの方々が再エネ
発電所があることから、電力の
自給率は33.0%（2018年
3月時点）を超える、全国でも
有数の「永続地帯」です。

東日本大震災以降、日本全国
で再エネを増やして、電力の自
給率を高めようという動きが強
まっている中、本市ではすでに
市内で使う電気の3倍以上の再
エネ電気が作り出されています。

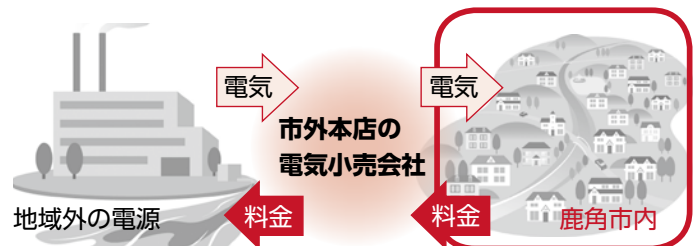
市では、この豊富な再エネを
地域の活性化につなげるため、
平成23年に「新エネルギービジ
ョン」を策定し、3つの基本目標
を定め、実現のためのプロジェ
クトを進めてきました。

かづのパワーの取り組みは、
電力の地産地消により、電力資
金を域内で循環させることで地
域活性化を図るプロジェクトと
なります。

電力の地産地消とは

電力の地産地消は、市民が「ど
の電気小売事業者から電気を
買っているか」、また、「その電
気料金はどこに流れているのか」
に視点を置きます。

市外の電気小売事業者から電
気を購入する場合、電気料金は
市外に流出してしまいます。そ
こで、市内に電気小売事業者を
つくり、地域の電気を地域内に
供給することで、電気料金を流
出させず、市内に留めることが
できます。このように、発電か



電気料金の域内循環



かづのパワーが目指す未来

かづのパワーは、発電事業者
から電気を購入して顧客に販売
する、電気小売事業を行います。
本市の豊富な再エネ電気を購入
し、その電気を地域内に供給す
ることによって電力の地産地消
を図ります。

かづのパワーが得た利益は、
市に寄附して市の施策によって
地域に還元する方法や、地域の
再エネへの投資、または顧客への
安価な電気料金などで還元しま
す。

令和2年4月1日から電気
の供給開始を予定していますが、
最初は市の公共施設の一部を対
象とします。ノウハウと実績を
積み重ね、電力の地産地消のメ
リットを市民にお伝えしながら、
新たな電源の獲得とともに規模
を拡大していき、最終的には市
内全域に安価でクリーンな鹿角
の電力を供給して、豊かなまち
につなげることを目指します。

産業活力課 商工・新エネ班
30・0250

かづのパワーは 電気を仕入れ販売する電気小売会社



※送配電については今までどおり送配電事
業者（東北電力）が担うので、停電などの
対応に変更はありません。

本市の再生可能エネルギー

電力自給率 330.17%
(全国 31 位、全国の市部 1 位)
※千葉大学倉庫環境研究室
「永続地帯 2018 年版報告書」より



※永続地帯とは、住み続けるた
めに必要なエネルギーと食糧
をその地域で生み出すことが
できる地域のこと

新エネルギービジョン

3つの基本方針

- ①多くの市民の目に触れ、体感することで環境意識を高める
・公共施設への太陽光パネルなどの設置
- ②共働による新エネルギーの普及の仕組みをつくる
・子どもたちを中心とした普及啓発講座の実施



ペットボトル風力発電



ソーラーカー体験

- ・再エネに取り組む市民団体・企業の登場
- ③新エネルギーの導入により地域の活性化を図る
・小水力発電、木質バイオマスなどの導入可能性調査
・地域電力小売会社を設立し、電力資金の域内循環を図る

← かづのパワーの取り組み

かづのパワーのモデル

電力自給率330%超
市内の既存電源・新規電源

